



子育て通信

令和7年 5月

第337号



なんくる



みどり子育て支援センター「なんくる家」那覇市首里石嶺町4-216-3 (みどり保育園)

電話: 098-886-6044

ホームページ <http://midori-okinawa.com/>e-mail nankuruya310@gmail.com

五月・天の運動会 一等賞は鯉のぼり 負けじと跳ねる子どもたち

大自然が衣替えを終え、うりずんの季節。春先に降った雨が地面を潤し種をまいたり花を咲かせたり、若葉を育てたり〜一齐に地球が眠りから覚めました。

さて、新年度からひと月が過ぎました。なんくる家の様子にも少しの変化と定番の穏やかさが入り交じっています。

愛にあふれた場所を醸しだしてくれているのは、これまで利用してくださっている常連ママたちの心遣いです。みんな優しい仲間です。

「新しく来るママたちに、自ら話しかけるようにしたい」「居心地の良い雰囲気を意識します」などなど、ママ同士が話し合ったのでしょうか、まるで担任のような責任感を持って迎えているのです。(感謝)

別の保育園に入園したママたちも、時間を見つけては「なんくる家」で語らいに訪れ、隙間時間を上手に活用しているようです。

子育てに困っている方も、引っ越してきたばかりの方も、友だちがほしいだけの方もそれぞれの理由で、なんくる家を利用しています。「私はここに毎日来てもいいんですか?」と肩の荷を下ろし小さいながらの自分の居場所で安心します。

担当者は寄り添い、適度な距離感をもって丁寧に語りかけ、必要な支援を模索します。緊張感も溶けるころママは自分の心のうちを語り始めます。「子育ての大変さを語った後は、子どもへの愛おしさ」を語るのです。

子どもが年々少なくなるこの社会。「オギャー」と産声が聴こえるような「産みたい」社会「幸福な」社会になってほしいですね。

子どもは希望!! 私たちの宝です。それを忘れてはならないと思うのです。なんくる家には、いつでも愛があります。どなたでもおいで下さい。

施設長・石川キヨ子

【渡名喜島便り】

4月24日・25日と・渡名喜島に仲間4人で渡りました。船上から眺める渡名喜の島は力強い岩山が特徴的です

島全体がフクギに囲まれた古民家の島ですが、石器時代を連想させる、この島は魅力的です。民宿は、水洗トイレは完備された古さと新しさが同居した島です。

縁あって、偶然に、比嘉村長にお会いできました。穏やかで笑顔に多くの課題を抱えておられることも察知しました。島ならでの悩みは深くて大きいことを感じました。

とにかく、「渡名喜島に関心を寄せる人をふやすこと」それを目標に、5月も6月も渡名喜島に渡ります。2時間の船旅もいいですよ〜。

渡名喜を応援する会 石川